



1/1(金) 気持ちを整え 新しい年の幕開け

第3回「初日の出ヨガ～浦添のていだを浴びながら～」がANA SPORTS HALL でだこで行われました。

ヨガ指導者の山本玲子さんを講師に迎え、ソーシャルディスタンスを保ちながら初心者から経験者まで約45人が参加しました。前日に雨が降り、今回は室内での開催となりましたが、窓から差し込む初日の出の光を浴びながら参加者はヨガを楽しみました。

参加者は「新年を迎えてすぐに体を動かして気持ちがよかった」「心と身体がほぐれてすっきりした気持ちで2021年のスタートがきれいだ」と清々しい表情で話しました。



【男子】宮城小クラブ



【女子】当山クラブ

1/14(木) 力を合わせて掴み取った勝利

第17回浦添市長杯争奪小学生ハンドボール大会で優勝し、県代表として第41回九州小学生親善ハンドボール大会に出場したチーム関係者が大会報告に訪れました。大会は12月26日、27日に佐賀県で行われ、男子は宮城小HBCが優勝、女子は当山HBCが準優勝を果たしました。

糸数 龍治さん(宮城小6年)は「九州大会で優勝できたのも多くの方々からの支援があったからだと思います。これからも頑張るので応援よろしくお願いします」と感謝の思いを述べ、大城 百央さん(琉大付属小6年)は「決勝戦で熊本に敗れて悔しかったけどみんなで力を合わせて一生懸命プレーができました」と振り返りました。



12/22(火) 浦添市×名護市コラボカクテル「Cheers!(乾杯)」誕生!

浦添市と名護市の市制50周年を祝して開発した『Cheers!』の販売記者会見が沖縄高専(沖縄工業高等専門学校)で行われました。両市共通で連携していた沖縄高専から特産品を使ったコラボ商品の開発を提案されたことがきっかけで始まり、浦添市の桑の実果汁と名護市シークワサー果汁をブレンドした泡盛ベースのスパークリングカクテルが数量限定で誕生しました。

ネーミングとラベルには沖縄高専の学生のアイデアを使用し、「Cheers!」には「お祝いの乾杯」という意味が込められています。

松本市長は「50周年の祝いと合わせて、家族や仲間と『Cheers!』で乾杯してほしい」と思いを伝えました。



1/13(水) 民間のノウハウを行政サービス向上に生かす

本市初のネーミングライツ契約を結んだことを契機に、新型コロナウイルスの影響で厳しい状況にあるANA(全日本空輸株式会社)の社員2人を1月から約2年3か月間、市役所で受け入れます。

客室乗務員として約10年勤務してきた野村さんは「浦添市の魅力をいっぱい知って機内にいるお客様やANA社員に伝えられるようにどんどん吸収していきたい」と話し、客室乗務員だけでなく企画部門で勤務した経験もある住吉さんは「暗いニュースが続く日々ですが市やANAにとって明るい話題を少しでも提供できるように貴重な経験と時間にしていきたい」と意気込みを語りました。



12/25(金) 聖夜を彩る迫力の ～27(日) プロジェクションマッピング

琉球朝日放送25周年を記念して「プロジェクションマッピング沖縄交響曲2020 in国立劇場おきなわ」が上映されました。プロジェクションマッピングが国立劇場おきなわの特徴的な外壁に映し出されると、沖縄の創生から琉球王朝時代、戦争の苦悩、未来への希望を描いた歴史物語をベースとした長編映像と、その世界観に合わせた音楽で観客を魅了しました。

世界レベルの迫力映像を体験した人たちは「きれいな映像と音楽で良い年の瀬の思い出を残せた」、「幻想的な映像に気持ちが明るくなった」と嬉しそうに話しました。



12/18(金) 浦添ボーイズ全国大会出場報告

第51回日本少年野球ボーイズリーグ春季沖縄大会において、浦添市を拠点に活動する浦添ボーイズが優勝し、沖縄県代表として3月に行われる全国大会への出場が決まりました。決勝戦は浦添ボーイズ打線が初回から大爆発し12点を先制、その後も緩むことなく攻め立て見事16年ぶりの栄冠に輝きました。

ANA SPORTS HALL でだこで市長への報告会が行われ、與那嶺代表が優勝報告をし、松本市長からは「みなさんが厳しい練習をしっかりと乗り越えた結果だと思います。これから沖縄県の代表として、野球だけでなく精神面ももう一段上げて勝利を勝ち取ってきてほしい」と激励の言葉がありました。

話題がいっぱい!
なかゆくい



▲プロジェクションマッピング会場にてだこも参りましたよ。



11/20(金) 平和を伝える朗読講座 ～12/18(金)

「戦後75年、今私たちができること」と題して、中央公民館で朗読講座が行われ、平和への高い関心と次世代へつなげたいという思いを持つ10代から70代が受講しました。

全5回の講座は浦添の戦争体験者の動画を使った講話、朗読、成果発表と充実した内容となりました。

受講者からは「朗読を通じた平和、反戦の訴えは出来るならずっと続けていきたい」、「朗読で平和を伝えていくのは、難しい面もあるが、人々の心に触れることができると実感した」などの感想が寄せられました。